

R4 アクションプラン

R4	API	AP2	AP3
キーワード	学ぶ喜び	仲間と共に	ICTもバッチリ活用
重点課題	課題に向けて、自ら主体的に取り組む生徒の育成	よりよい人間関係を築き、互いに尊重し、高め合う生徒の育成	ICT機器を、自分の学びに活用することができる生徒の育成
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて、授業に意欲的に取り組むことができたと感じる生徒が80%以上。 ・授業や確認テストにおける「振り返り」を通して、学びを実感できたと感じる生徒が80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の中で、互いのよさや違いを認め合うことができたと感じる生徒が80%以上。 ・互いの思いや立場を尊重して、相手の話を聞いたり自分の思いを伝えたりすることができると感じる生徒が80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットのルールを守って使用することができた生徒が80%以上。 ・学びを深めるためにICT機器を活用することができたと感じる生徒が80%以上。
具体的な方策	<p>〈方策1〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業において、生徒が各活動に目的をもって取り組むことができるように課題設定や見通しのもたせ方を工夫する。 ・全員が活動に意欲的に取り組めるように活動内容やワークシート等を工夫する。 <p>〈方策2〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業において、学びを実感でき振り返りの場を設定する。 ・定期考査1週間前に、生徒会（学力向上委員会）と連携して「確認テスト」を行い、知識及び技能を確実に身に付けられるようにする。 	<p>〈方策1〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成的グループ・エンカウンターを用いた「よりよい学級集団づくりプログラム」の年間指導計画を作成し、計画的に実践することで、互いのよさや違いを感じ、よりよい人間関係を築くことができるようにする。 <p>〈方策2〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝活動の時間に対人関係ゲームを取り入れ、友達と話し合う場をより多く設定し、自分の考えや思いを伝えたり、相手の思いや考えを聴いたりできるようにする。 <p>〈方策3〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動の様子、Q-U調査、学力調査等の分析を学級でのグループ編制に活用する。 	<p>〈方策1〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会と連携し、学校での使用ルールを設定し、周知する。必要に応じて学力向上委員が使用状況をチェックする。 <p>〈方策2〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西條ワープロ検定を行い、タブレット使用の基本的スキル（主に文章入力）を高める。 <p>〈方策3〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で意見の共有や振り返りを行う際にICT機器を活用し、学びを深める場を設定する。